

江戸三大祭 300 年以上続く根津神社例大祭 法被にふんどし姿の留学生 25 名がみこし担ぎに挑戦！

～ 減り続ける“地域の担ぎ手” 助っ人として参加しながら日本文化の真髄を学ぶ ～

文京学院大学は 2015 年 9 月 20 日(日)、根津神社例大祭にて、世界 6 カ国(アメリカ、ブルガリア、マレーシア、ネパール、トルコ、台湾)からの留学生 25 名が、みこし担ぎに参加します。

<担ぎ方の指南を受ける留学生>



<地域住民に交じってみこしを担ぐ留学生>



※画像はいずれも昨年の様子

【 根津神社例大祭について 】

「東京十社」にも数えられる根津神社において、江戸三大祭の一つとして 300 年以上続く伝統的な秋のお祭り、今年も 9 月 19 日(土)～20 日(日)の 2 日間にわたって開催されます。

【 留学生が参加する根津宮本町会のみこし担ぎについて 】

本学の留学生が参加する根津宮本町会は、地域住民と留学生との協力関係によって町会単独のみこし担ぎが成り立っています。しかし、全国各地で行われるお祭りのみこし担ぎでは、町会員の高齢化などから、担ぎ手不足が問題となっています。根津神社の例大祭も例外ではなく、根津宮本町会以外の町会は、町外のみこし好きによる“同好会”の力を借りています。地域と大学が協力関係を築くようになり、今年で 13 年目を迎えますが、町会単独のみこし担ぎが成立することは、協力関係による成果の一つです。

【 文京学院大学の留学生について 】

本学は毎年、国際連携プログラムとして海外の大学から留学生を受け入れています。今年も 21 名のプログラム生を 8 月末に受け入れました。12 月の帰国まで、日本家庭へのホームステイやお寺での座禅体験など、日本文化の理解促進を目的とした多数のプログラムに参加する予定の中、今回は慣れないながらも「ふんどし締め」を行うなど、みこし担ぎの“正装”に挑戦します。

※国際連携プログラム生として来日している学生の出身は、アメリカ 15 名、ブルガリア 2 名、マレーシア 2 名、ネパール 1 名、トルコ 1 名となっています。このほかに長期の交換留学生(台湾 4 名)も参加し、計 6 カ国、25 名がみこし担ぎに参加する予定です。

「根津神社 例大祭」留学生みこし担ぎ 実施概要

日 時： 9 月 20 日 (日) 14 時 30 分 ～ 19 時 00 分

場 所： 集合 > 根津宮本町会 神酒所 (竹浪運送店 / 東京都文京区根津 1 丁目 22-4)

構成：14時30分頃～16時00分頃 みこし担ぎ 準備

※町会の方から指導のもと、みこし担ぎの正装となるふんどしを着用します。

※ふんどしに続いて、ねじりはちまきを着用します。

その後、みこし担ぎの心構えや技術などについて手ほどきを受けます。

16時00分頃～ みこし担ぎ スタート

※正装に着替えた後、町会に所属する子どもからお年寄りまで総勢約70名がみこし担ぎに参加します。例年ここで、日本人と背丈が異なる留学生が悪戦苦闘します。

19時00分頃 終了予定